



2020年8月17日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース 18号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。お盆休みを挟み、1週間隔が空いてしまい失礼いたしました。今年のお盆は例年と違う感じで季節感がややなかったですが、各出場校1試合だけの高校野球(甲子園)をみて、元気はつらつとした姿に、自分も元気をもらった気がしました。

### 1. ロンドンココア価格トレンド分析 (12月限月中心)

コロナショックで3月から下落、低迷を続けてきたカカオ相場ですが、NY市場は先行して3月に下落、その後徐々に持ち直し、ロンドン市場のNY相場の暴落時にはLID以前のMay, July限月はまだ高値が続いていたものの、LID分の差額調整が6月30日の相場で起こり、その後ロンドン市場はかなり低迷している環境下がありました。ロンドン市場は7月20日頃から上昇気流に乗り、その後1700ポンドを超えるまで上げてきました。8月1週目までは一方的な上昇を見せていましたが、先週からは少しもみ合い、方向性が見えにくく、やや下がる場面も散見されるようになってきました。個人的見解では、過去2-3週のような大きな上昇はなくなってきたので、やや下げたり、戻したりしながら、少し下に行く動きが出てくるかもしれないと思いますが、明らかなシグナルはないので、上にも下にも小幅に動いていくと思います。8月3日付の17号で短期は強気に動いていると報告し、実際そのように動いてきましたが、そのトレンドはやや終わった感じが出てきました。

《チャート分析》：上昇圧力が弱まり、上にも下にもトレンドがない状態に入りつつある。

Cacao-wataru TradingView.com で公開, 8月 15, 2020 21:10:25 JST  
ICEEUR:CZ2020, D 1688 ▼-8 (-0.47%) O: 1701 H: 1734 L: 1687 C: 1688



《CFTCポジション分析》：急激な下落が起こるような気配はないが、上昇する力も弱そうなポジション。

8月11日現在で、前週に比べ、売り数と回数の差数が15万t減少＝買いが弱く

実需筋は高値で価格を決めたい産地側からの価格確定のタイミングが来て売りヘッジを8万トン分＝売りも増えている

COCOA – ICE FUTURES U.S. FUTURES ONLY POSITIONS AS OF 08/11/20								Code-073732	
NON-COMMERCIAL			COMMERCIAL		TOTAL		NONREPORTABLE POSITIONS		
LONG	SHORT	SPREADS	LONG	SHORT	LONG	SHORT	LONG	SHORT	
(CONTRACTS OF 10 METRIC TONS)						OPEN INTEREST:		209,339	
COMMITMENTS									
61,636	35,473	28,135	107,475	138,241	197,246	201,849	12,093	7,490	
CHANGES FROM 08/04/20 (CHANGE IN OPEN INTEREST: -16,200)									
1,921	-9,473	-14,977	-2,097	8,146	-15,153	-16,304	-1,047	104	
PERCENT OF OPEN INTEREST FOR EACH CATEGORY OF TRADERS									
29.4	16.9	13.4	51.3	66.0	94.2	96.4	5.8	3.6	
NUMBER OF TRADERS IN EACH CATEGORY (TOTAL TRADERS: 215)									
84	55	55	58	50	175	133			

## 2. OLAM CEO インタビュー動画 (8/13)

お盆中といえば、8月13日にシンガポールでのOlamのCEOがブルームバークのInternet TVで業績報告を兼ねたインタビューを受けていましたのでお時間の許す方は、下記URLで動画をぜひご参照ください。(英語インタビュー)

要点としては、コーヒー需要は外食でかなり落ち込んだが、家で飲まれており、大きな打撃ではない。チョコレート分野は好調。需要側の落ち込みがある分野もあるが、それよりも供給側の輸送、出荷、加工などの影響も無視できない。利益は前年対比44%だが、株価は上昇傾向。キャスターからは、コモデティ関連への資金提供が金融機関などから厳しい判断で減っていると指摘していたが、Olam側としては、JICAとIFCからのインドネシアのカカオ工場への借り入れの事例などを出して、途上国での農業は地域住民であり、すそ野が広く、社会的な意味合いで公的機関などからの資金提供が増えていると説明していた。

<https://www.bloomberg.com/news/videos/2020-08-13/global-food-supply-chains-healing-from-pandemic-olam-video>

## 3. アフリカココア：雨が少なくなり、作物が乾燥の初期兆候を示し作柄に影響の懸念(8/11)

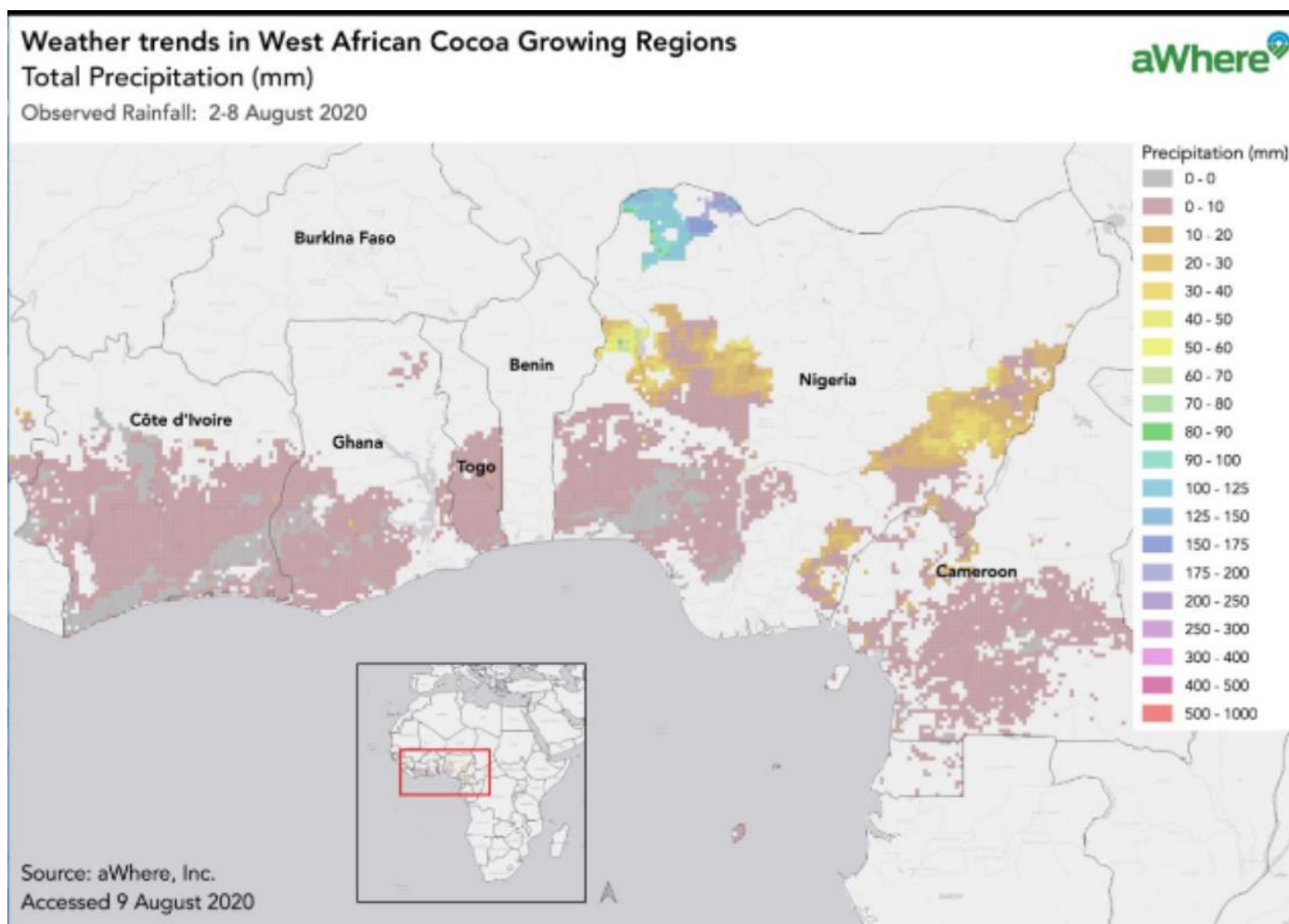
世界の cacao 生産数量トップ生産国であるコートジボワールとガーナのカカオ農家は、カカオの木が10月から始まるメインクroppに先立って乾燥の初期の兆候を示していると報告した。

「しばらく雨が降っていません」とコートジボワールの中心部に住む農民、クアシ・クアシは言う。「長期的な雨の不足は、カカオの鞘の成長に問題を引き起こす可能性があり、すでに私たちは、いくつかの **Cacao swollen shoot virus (CSSV)** 直面しています。」

\*CSSVは西アフリカで見られる植物病原性ウイルス性で症状としては芽が出る部分から茎全体が写真のように腫れあがり、カカオの収穫量を感染の1年以内に収量は25%減少し、2年以内に50%減少する。木は通常3~4年以内に殺されます。症状はウイルスの菌株によって異なる。



農家のビアトリスオブオアドゥ氏によると、成長中のカカオポッドが近隣のガーナで枯れ始めているという。それを反映してか、ニューヨークカカオ先物は月曜日の5ヶ月の最高値に触れた。



## カメルーン

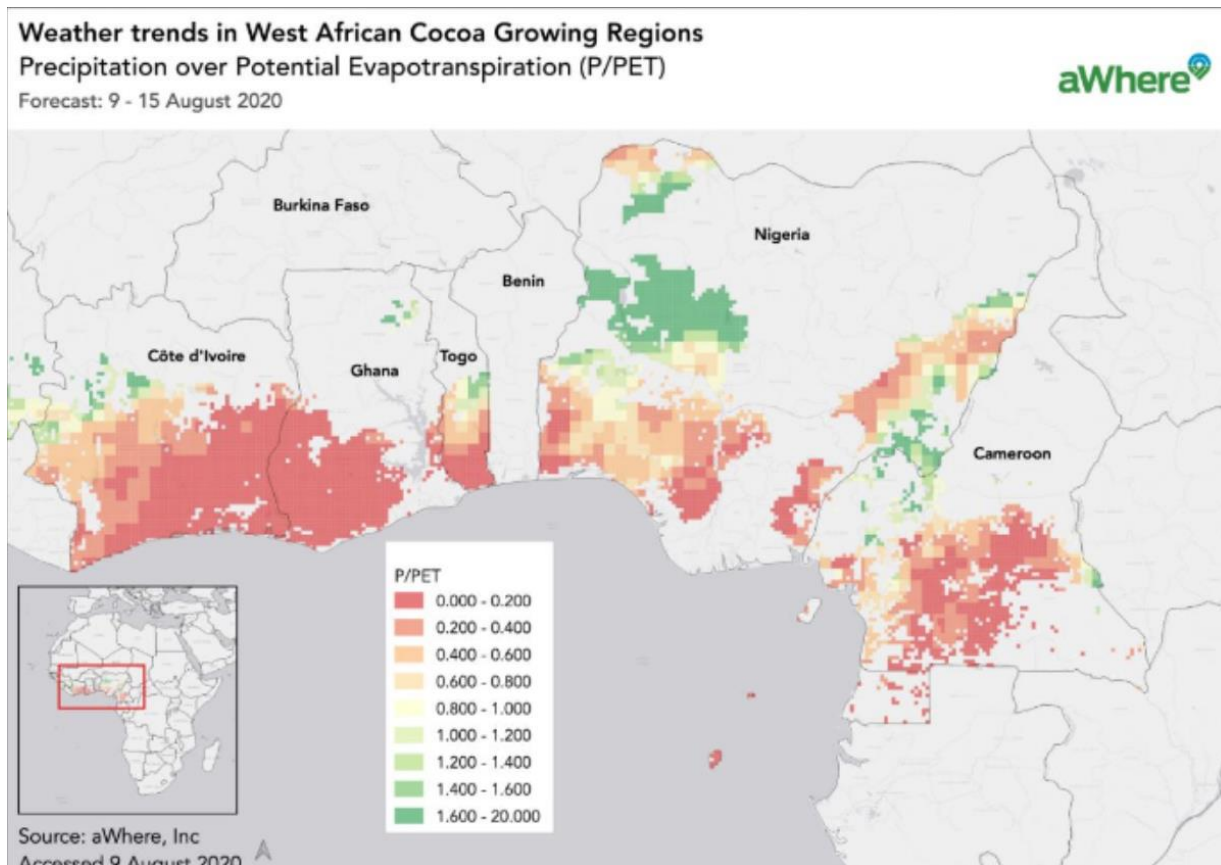
カメルーンの中央生産地域、国で2番目に大きな生産地域にあるココア農家は、全く雨のない4日間を経験した、と同地区のカカオ農家は言いました。雨の降らない期間、生産者は乾燥豆を倉庫や販売センターに輸送したり、農薬を散布したりしました。この農家の話によると、現在、農家はカカオの価格を下げており、カメルーンの輸出業者はコロナウィルスが輸出価格と数量に影響を与えていると言っているとのこと。

## ナイジェリア

オンド州のカカオ生産者は、南西部では、乾燥した天候が続くと土壌から水分が奪われ、必要な栄養素が奪われる可能性があるかと懸念していると語った。

「苗を苗木用の鉢植えから農園に移植しようとする農民でさえ、雨が降らないために今農園に植えても、すぐに苗木が死ぬのではないかと恐れて、今は控えている」と。

南東部では、農家は日差しの逆戻りを利用して農場に散布を行っているようだ。木々は緑が茂っており、メインクロップの最初の収穫は8月末までに始まる可能性がある。



\*P / PET は、降水量を地域の蒸発需要の比率として示しています。1未満の比率は、期間中の水分不足を示し、数値が低いほど、作物へのストレスが大きくなります。地図の引用《aWhere》

#### 4. ガーナ：新物カカオの買い付けの為の資金13億ドルのローンの調達を実施(8/10)

ガーナ議会の文書によると、ガーナのカカオ統括機関のココボードは、10月に始まる新物カカオを生産者から購入する資金として13億ドル（約1400億円）をシンジケートローンにて調達した。

- ココボードは必要に応じて、4-5月のミッドクロップの購入資金として更に、2億5,000万ドル（約270億円）を借り入れることも出来る条件
- ガーナは2020-2021年シーズンには、90万トンのカカオ豆を生産することを目標としている。
- シンジケートローンに参加している貸し手には、ABNアムロ、中国銀行、Rabobank、DzBank、ガーナ国際銀行、中国国際商業銀行、MUFG、ナティクシス、スタンダードチャータード銀行が含まれる。



## 5. コートジボアール カカオ豆着荷状況 8/3-9 は9,834 トンの集荷 (8/11)

コートジボワールの8/3-8/9の1週間でのカカオ集荷数量は9,834トンであった。昨年の同時期の1週では7,291トンの集荷数量であった。また、シーズンが10月1日に始まってからの総到着数は224万トンとなっており、前年同時期の約213万トンを上回る数量となっています。

\*下記はコートジボワール産カカオの買い付けのトップ5企業と8月9日までの買い付け数量。コートジボワールでは国際的な需要者は国内に買い付けの為に会社を設立しており、生産者から政府の規定価格での買い付けを行う仕組みになっています。

会社名	購入数量(トン)
アウトスパン(オーラムのグループ)	322,208
カーギル	316,227
Saco(バリーカレボグループ)	283,796
S3C	128,190
Sucden(フランスの商社)	123,972
Tuton(フランスの商社)	121,316
その他の企業	945,971
合計	2,241,680

## 6. ガーナ政府、資金調達の為182日償還の1億9千万ドル相当のカカオ債を発行(5/20)

ガーナは8月11日に今年の2月9日に満期となる11億セディ(1.9億ドル=約200億円相当)のカカオ債を発行、売り切りました。カカオ債は91.7681の価格で販売され、17.941パーセントの利回りがあります。

発行者	ガーナ共和国
満期日	2021年2月9日
オークション日	2020年8月11日
タイプ	カカオ債
入札額	20億3600万セディ
割り当てられた金額	11億セディ
カバー率の入札	1.85
価格	91.7681
金利	17.941%
決済	2020年8月11日
主幹事	ガーナ銀行

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)